患者向医薬品ガイド

2026年4月更新

ラスビック錠75mg

【この薬は？】

販売名	ラスビック錠75mg Lasvic Tablets 75mg
一般名	ラスクフロキサシン塩酸塩 Lascufloxacin Hydrochloride
含有量 （1錠中）	75mg （ラスクフロキサシンとして）

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、ニューキノロン系経口抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
・この薬は、細菌のＤＮＡ（デオキシリボ核酸）の複製にかかわる酵素を阻害することにより、細菌の増殖をおさえ、殺菌作用を示します。
・次の病気の人に処方されます。

＜適応症＞

○咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染

○中耳炎、副鼻腔炎

＜適応菌種＞

本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、プレボテラ属、肺炎マイコプラズマ（マ

イコプラズマ・ニューモニエ）

・この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、飲む量を減らしたりしないでください。指示通りにきちんと飲まないと、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示通りに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。

・過去にラスビック錠に含まれる成分や他のキノロン系抗菌剤で過敏症のあった人
・妊婦または妊娠している可能性がある人
・小児

〇次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・てんかんなどのけいれん発作をおこすことがある人、または過去にてんかんなどのけいれん発作のあった人
・心臓に高度の障害（不整脈、虚血性心疾患等）がある人
・重症筋無力症の人
・大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群など）のある人
・肝臓に中等度以上の障害がある人
・授乳中の人

〇この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

〇大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群など）のある人は、画像検査が行われることがあります。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ラスビック錠 75mg
一回量	1 錠
飲む回数	1 日 1 回

●どのように飲むか？

コップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して２回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、１回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は１回とばして、次の時間に１回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・大動脈瘤、大動脈解離があらわれることがあるので、腹部、胸部、背部に痛み等の症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。これにより、画像検査が行われることがあります。
・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
・授乳している人は医師に相談してください。
・高齢の人は、腱障害があらわれやすいので、腱周辺の痛み、浮腫、発赤等の症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
白血球減少症 はっけっきゅうげんしょうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
QT 延長 キューティーえんちょう	めまい、動悸、気を失う
心室頻拍（Torsade de pointes を含む） しんしつひんぱく（トルサード・ド・ポアンツをふくむ）	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う
低血糖 ていけっとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんなどのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる、お腹が張る、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、激しい腹痛、下痢、嘔吐

重大な副作用	主な自覚症状
アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害 アキレスけんえん、けんだんれつなどのけんしょうがい	アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、足関節を曲げにくい、足関節を伸ばしにくい、つま先立ちの動きができない
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
錯乱、せん妄等の精神症状 さくらん、せんもうなどのせいしんしょうじょう	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想
重症筋無力症の悪化 じゅうしょうきんむりょくしょうのあっか	まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感、食べ物が飲み込みにくい
大動脈瘤 だいどうみゃくりゅう	声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、息苦しい、食べ物が飲み込みにくい、腹痛、胸の痛み、背中の痛み
大動脈解離 だいどうみゃくかいり	激しい胸の痛み、激しい背中の痛み、激しい腹痛

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、突然の高熱、寒気、発熱、疲れやすい、けいれん、体がだるい、力が入らない、脱力感、顔や手足の筋肉がぴくつく、食欲不振
頭部	めまい、意識の消失、気を失う、意識の低下、頭痛、一時的にボーっとする、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、軽度の意識混濁、興奮状態、妄想、幻覚
顔面	顔面蒼白、血の気が引く
眼	まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える
口や喉	喉のかゆみ、喉の痛み、咳、吐き気、食べ物が飲み込みにくい、声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、嘔吐
胸部	動悸、息苦しい、息切れ、胸の不快感、胸の痛み、激しい胸の痛み
腹部	お腹がすく、腹痛、激しい腹痛、お腹が張る
背中	背中の痛み、激しい背中の痛み

部位	自覚症状
手・足	手足が冷たくなる、手足のふるえ、アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、足関節を曲げにくい、足関節を伸ばしにくい、つま先立ちの動きができない、手足のこわばり、手足のしびれ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
筋肉	筋肉の痛み、筋肉の疲労感
便	血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、下痢
尿	尿が赤褐色になる

【この薬の形は？】

販売名	ラスビック錠 75mg
形状	
直径	7.8mm
厚さ	3.8mm
重さ	196mg
色	淡黄色

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ラスビック錠 75mg
有効成分	ラスクフロキサシン塩酸塩
添加剤	アルギン酸、クエン酸二水素ナトリウム、結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウム、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール400、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：杏林製薬株式会社（https://www.kyorin-pharm.co.jp/）
くすり情報センター
電話：0120－409－341
受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・会社休日を除く）